

新宮山彦ぐるーぷ1879回

深仙宿小屋LED照明修理と携帯電話充電器取付など

◇参加者：梶野照雄

◇実施日：平成28年6月2日(木) 快晴

深仙宿小屋のLEDの一つが点灯していないと報告があったので修理に行った。

一番の原因として考えられるのは、バッテリーの電圧が高過ぎてLEDそのものが切れてしまったことであるが、この場合、早く処置しないと他のLEDにも及ぶことが考えられ、晴天でソーラーパネルの出力が最大である時に電圧を確認すべく、晴天が確実なこの日に実施した。

併せて奥駈道の分岐に設置した標識の固定、スイッチの交換、携帯用充電器の取付け並びに登山口近くのアルミ梯子の補強も行った。



平日でも満車



深仙小屋もよく見える



かくし水は健在

午前9時20分、登山口に着くと既に満車状態。平日なのに16台も駐車していた。

梯子の補強は後回しにして、奥駈道分岐を目指す。気温は15℃、北西の風が5mくらい吹いて半袖では肌寒く感じる。

かくし水は、少し細くなっているが、まだ取水可能だった。



奥駈道分岐到着



標識取付け完了



久しぶりの釈迦ヶ岳山頂

11時25分、奥駈道分岐に到着。案の定、針金で括り付けただけの一枚がぶら下がっていた。ドリルを出して穴をあけて固定。取付け後、久しぶりに釈迦ヶ岳山頂へ向かう。

山頂付近のシロヤシオは満開のものや、既に葉だけになったものもあり、ピークは過ぎていたようだった。山頂では20名ほどが食事中だったので、写真を撮って深仙小屋へ向かう。

下る途中もシロヤシオだらけ、ミツバツジも同時に咲いていればもっと綺麗なのと思う。12時25分、深仙宿到着。お堂から脚立を出して小屋に向かう。

まず昼食、直ぐにLEDの修理にかかる。LEDを外して電圧を測ってみた。13.6Vだった。LEDの定格は、12Vなので、一割以上高い。これではLEDが切れてしまっても不思議では

ない。切れたLEDは交換。電源との間に電流制限抵抗を入れ、LEDの印加電圧を10.9Vまで落とした。



山頂から弥山・八経



一面のシロヤシオ



深仙宿到着

次にスイッチの交換。電源OFF時に点滅LEDが作動しなかったため、丸ごと交換した。これでOFFの時にスイッチの場所が直ぐ判るようになった。



点灯しなくなったLED



交換して点灯



スイッチも交換

LED照明の消費電流は、約0.4mAで、バッテリー容量に十分な余裕があるので、携帯電話の充電器を取付けた。充電器は、アウトレット品の一個¥200を4個買っておいたもので、少し改造して、2Aのヒューズも付けた。予備ヒューズはビニール袋に入れて、バッテリーの横に置いてある。



携帯充電器取付け



バイケイソウ花芽



台形の笠捨山

深仙宿小屋での作業は終了、14時30分に深仙宿を離れて下山する。

下山途中には、バイケイソウが50cmくらいまで葉を広げ、あちこちに花芽がのぞいている。今度雨が降った後には、開花が始まるようだ。風が強いので、笠捨山や行仙岳のアンテナ鉄塔もよく見えていた。

16時40分、登山口に下山。ザックを下ろしてハンマー、針金などを持って再び梯子まで15分ほど登って作業する。

以前使ったガス管の残りをハンマーで打ち込んだが、打ち込むにつれてだんだん離れていき、梯子と5cm程離れてしまった。

足元に石を集めて踏み台を造った。ずり落ちないように不要に

なった鉄杭を2本打ち込んだが、短くて少々頼りないので次回改善したい。梯子の上の朽木を少し割って通路を広げた。

17時20分に作業終了、登山口に下山後、帰路についた。



ガス管を打ち込む



朽木も少し割った



アルミ梯子補強完了

行動タイム

堺 06:30→09:20 太尾登山口 09:30→11:25 奥駈道分岐 11:40→
11:50 釈迦ヶ岳山頂 11:53→12:25 深仙宿(LED 照明修理等)14:30
→16:40 太尾登山口 16:44→17:00 アルミ梯子補強 17:20→17:35
太尾登山口 17:45→18:10 旭エレハウス 18:35→21:05 堺。

(記 梶野)